



2023年3月期 第2四半期 決算説明資料

株式会社イントラスト

証券コード：7191

1 | 2023年3月期 第2四半期 業績

2 | 2023年3月期 会社計画

3 | 会社情報

1 | 2023年3月期 第2四半期 業績

2 | 2023年3月期 会社計画

3 | 会社情報

決算ハイライト

- 売上高並びに各利益が過去最高を更新し、通期計画を**上方修正**
- 営業利益率 **25.9%** (前期比+1.0%)
- 配当予想 **13.5円** (業績と連動させ期初計画+0.5円上方修正)
- 7期連続の**増配**を予定

売上高

2,990百万円
(前期比+26.9%)

営業利益

773百万円
(前期比+32.1%)

当期純利益

478百万円
(前期比+26.3%)

配当予想

13.5円
(前期比+1.5円)

時価総額

132億円
※9月末終値ベース

EPS

21.4円
(前期比+4.45円)

業績の概要

- 家賃債務保証の成長が寄与し、売上は大幅増収
- 費用増加抑制により営業利益も大幅増益

(百万円)

	2021/9 実績	2022/9 実績	前期比
売上高	2,356	2,990	126.9%
営業利益	585	773	132.1%
(利益率)	24.9%	25.9%	-
経常利益	587	771	131.2%
(利益率)	24.9%	25.8%	-
純利益	378	478	126.3%
(利益率)	16.1%	16.0%	-

売上は **126.9%** の増収

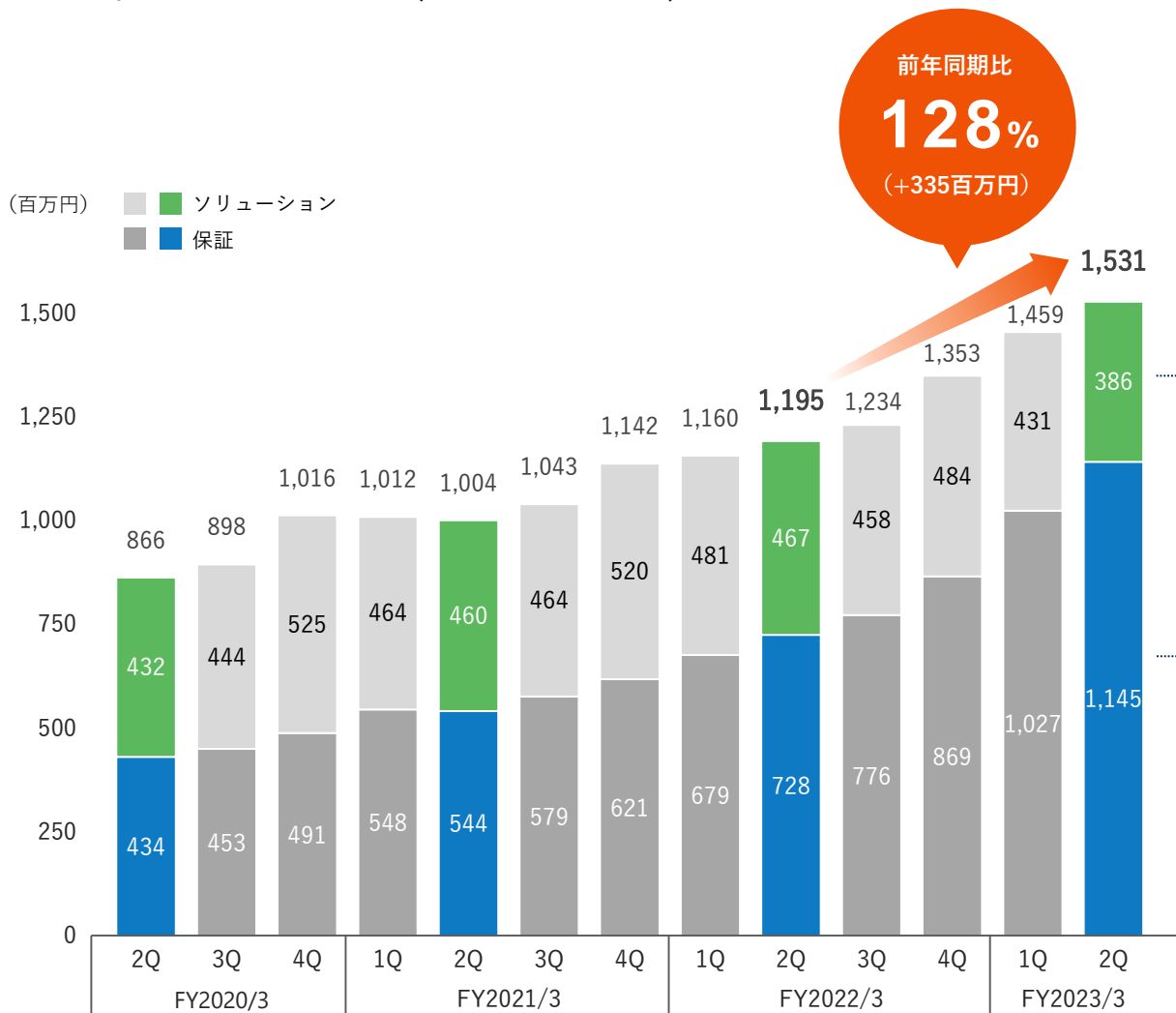
営業利益は **132.1%** の増益

- ソリューションからの切替や既存取引先の件数増加により、家賃債務保証は大きく成長(前期比159.7%)
- 医療費用保証は概ね計画通り進捗
- 家賃債務保証の成長に伴う代位弁済の増加により貸倒コストが増加も、増加率は安定

売上高の四半期推移

■ 売上は保証事業が1Qに引き続き大幅な成長を記録

前年同期比128% (+335百万円)



前年同期比
128%
(+335百万円)

ソリューション事業

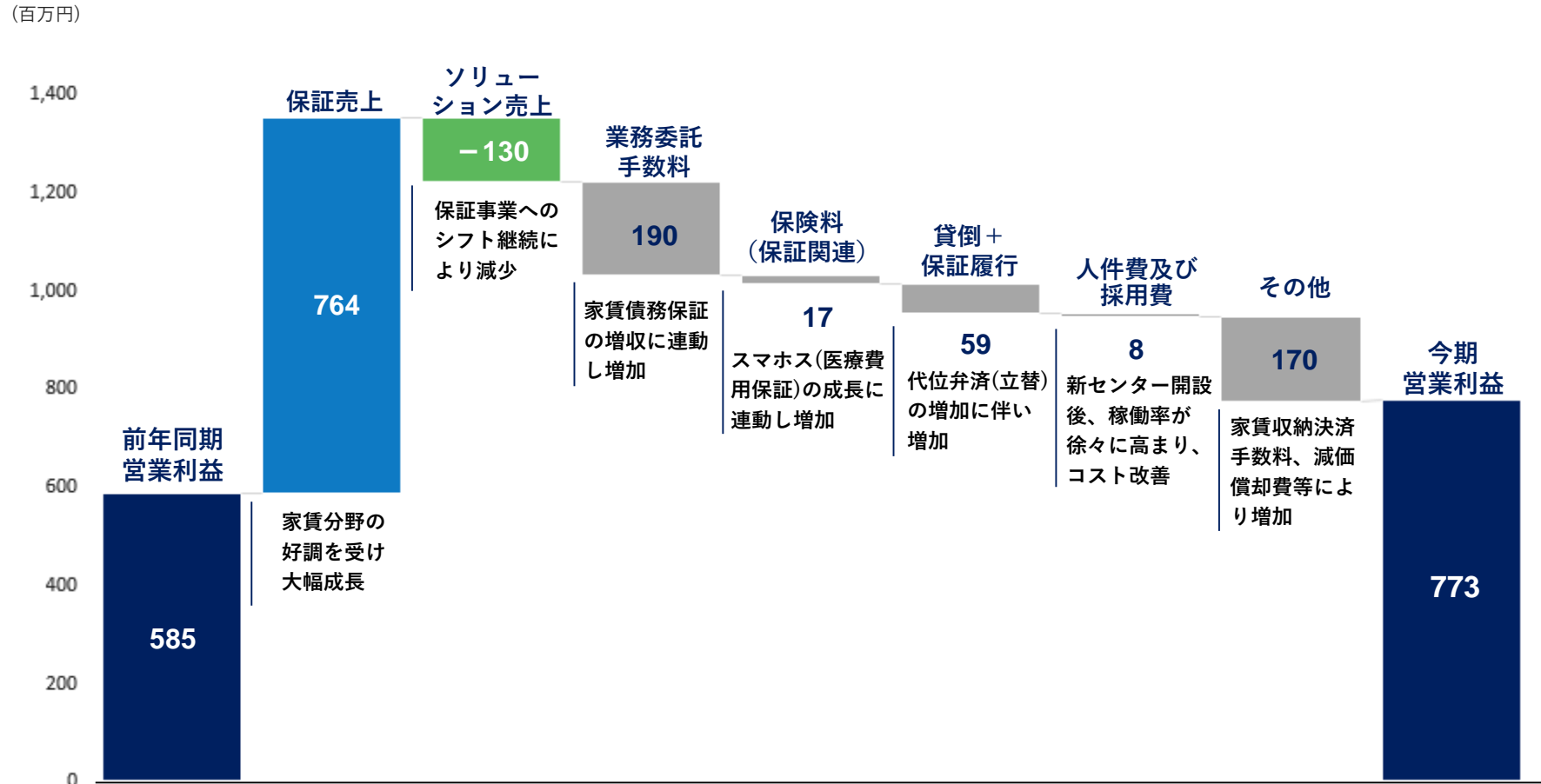
C&Oサービスから保証事業へのシフトは継続
前年同期比82.7% (-80百万円)

保証事業

家賃債務保証の新規契約続伸や更新保証料増による保証事業の成長
前年同期比157.2% (+416百万円)

営業利益の増減分析

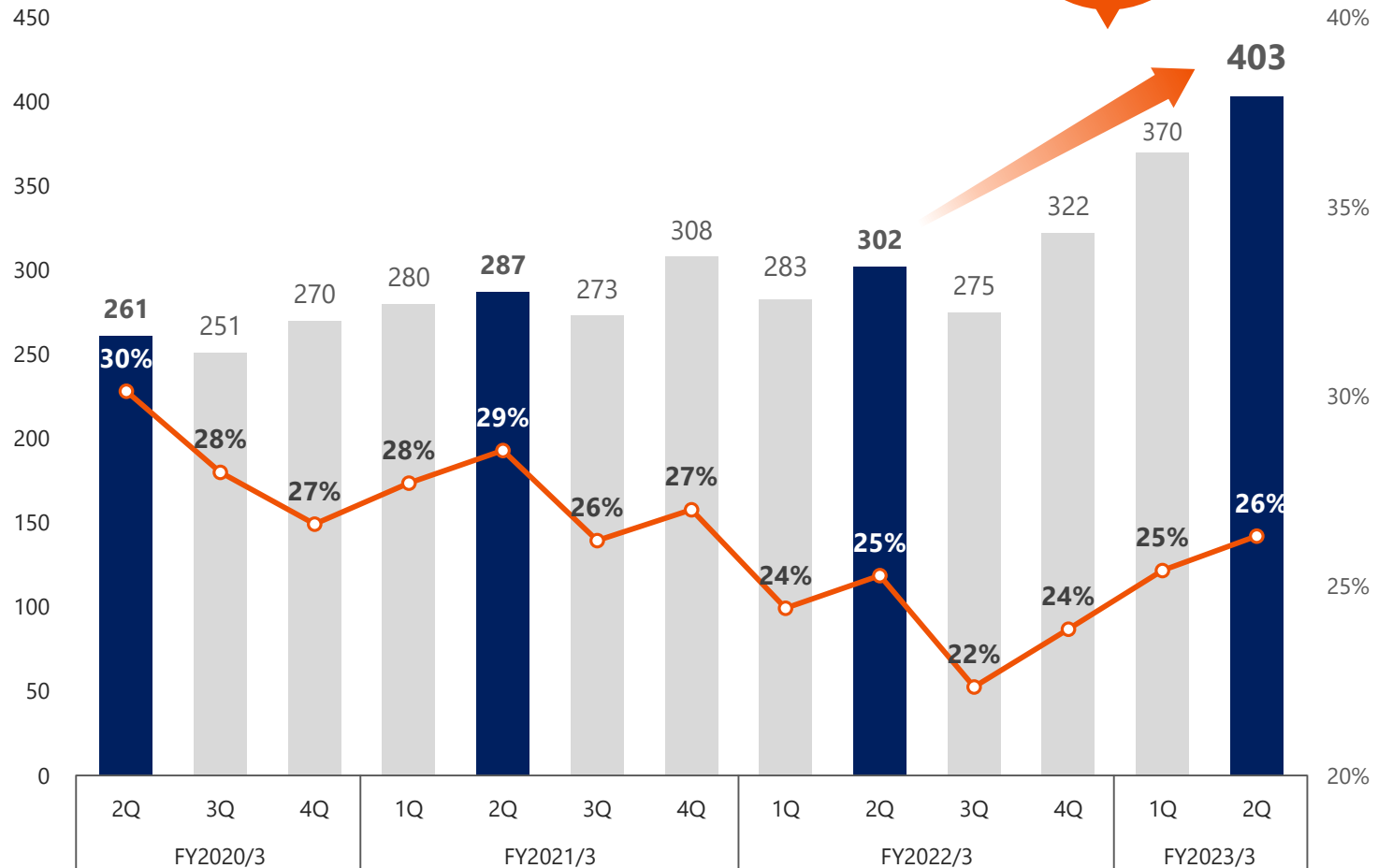
- 戦略的なコスト増加は一巡。
- 保証売上の増収が寄与し、営業利益は大幅増加。



営業利益の四半期推移

- 営業利益は大幅増加（営業利益率：26.3%）
- 業務効率の改善やセンター開設等の一過性費用剥落により利益率も改善

(百万円)



+33.4%

家賃分野 保有件数の推移

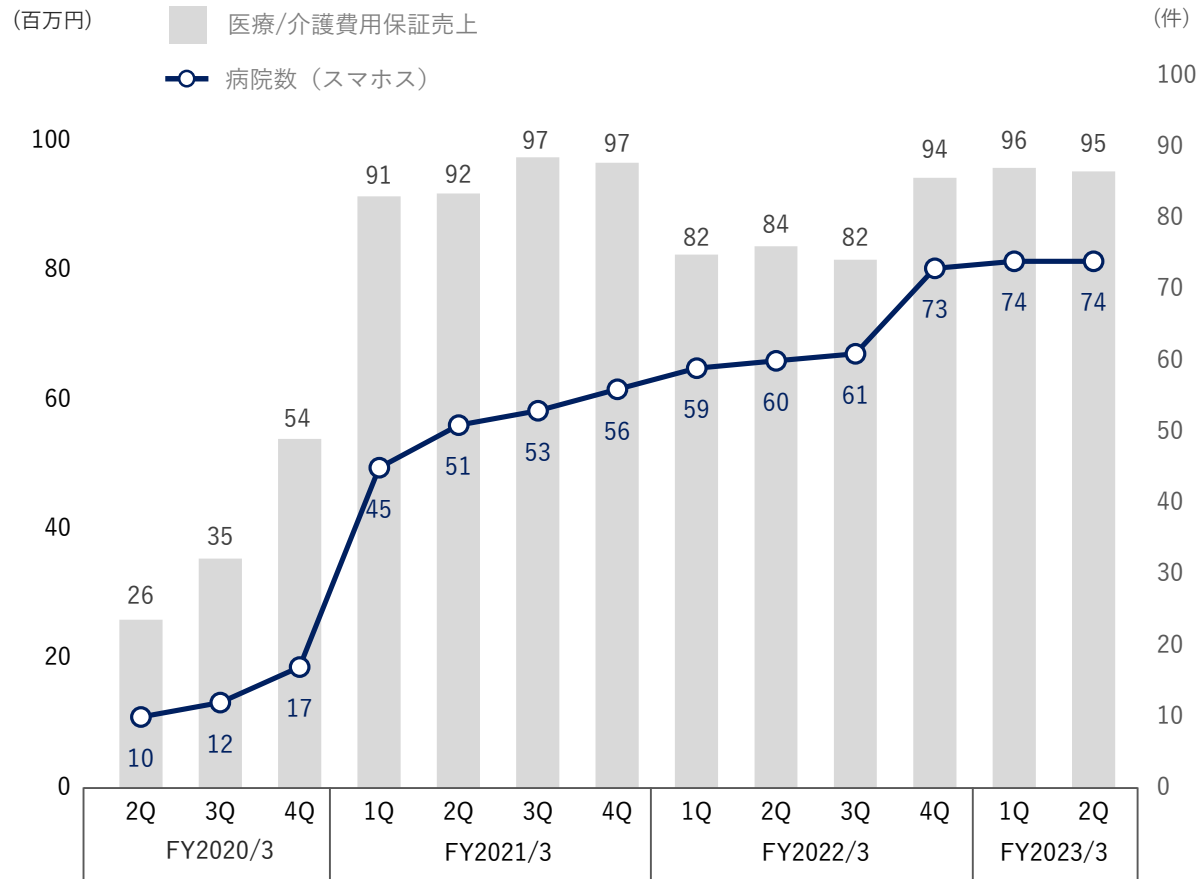
■ 保証分野が成長を牽引し、保有件数は着実に積み上がる



医療／介護費用保証の四半期売上推移

■ 医療分野における営業活動は正常化し、見積依頼が急増 社員増員により積極的に展開

スマホスは旧商品の虹からの切替えも促進し、下期に向け病院数の増加を見込む



— 提携先データ —

- 連帯保証人代行制度
スマホスは続伸
74 医療機関 対前期末+1
(新規+5病院、継続△4病院)
19,719 病床
- 医療費用保証付き入院
セット及びその他商品
168 医療機関 対前期末-4
33,538 病床
- 介護費用保証
208 介護事業者 対前期末+3

その他財務データ(貸借対照表)

(百万円)

	2021/9 (前期)	2022/9 (今期)	増減額
流動資産	4,991	6,099	1,107
現金及び預金	3,191	3,873	682
売掛金	215	199	-15
立替金	1,742	2,322	579
その他	428	468	39
貸倒引当金	-586	-764	-177
固定資産	943	989	45
有形固定資産	50	89	38
無形固定資産	262	222	-39
投資その他の資産	630	677	46
流動負債	1,661	2,183	521
内・契約負債	1,118	1,492	373
内・保証履行引当金	117	146	28
固定負債	73	105	31
純資産	4,199	4,800	600
総資産	5,935	7,089	1,153

家賃分野の事前立替型の商品
拡販に連動し増加

家賃債務保証の新規契約の
増加に伴い**契約負債***が増加
(33%増) ※ 翌月以降の収益源泉



**月次更新型の保証販売増
により、増加率は安定**

1

2023年3月期 第2四半期 業績

2

2023年3月期 会社計画

3

会社情報

全体計画サマリと進捗

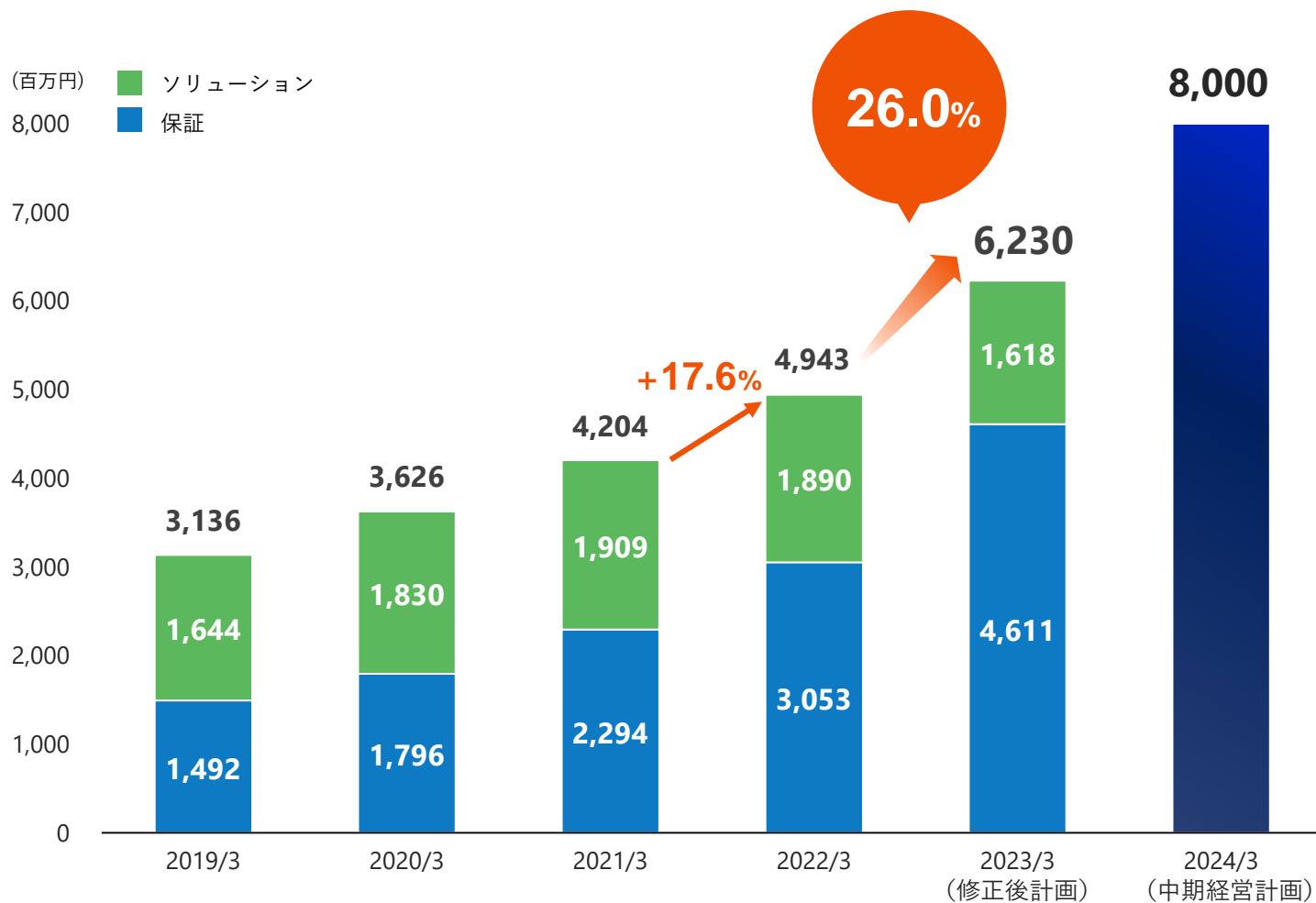
- 上期の好調を受け、**通期計画を上方修正**
- 売上は2022年3月期を超える成長計画
- 営業利益は、保証契約増への体制整備により貸倒コスト増加率一巡、センター開設一過性費用剥落

(百万円)

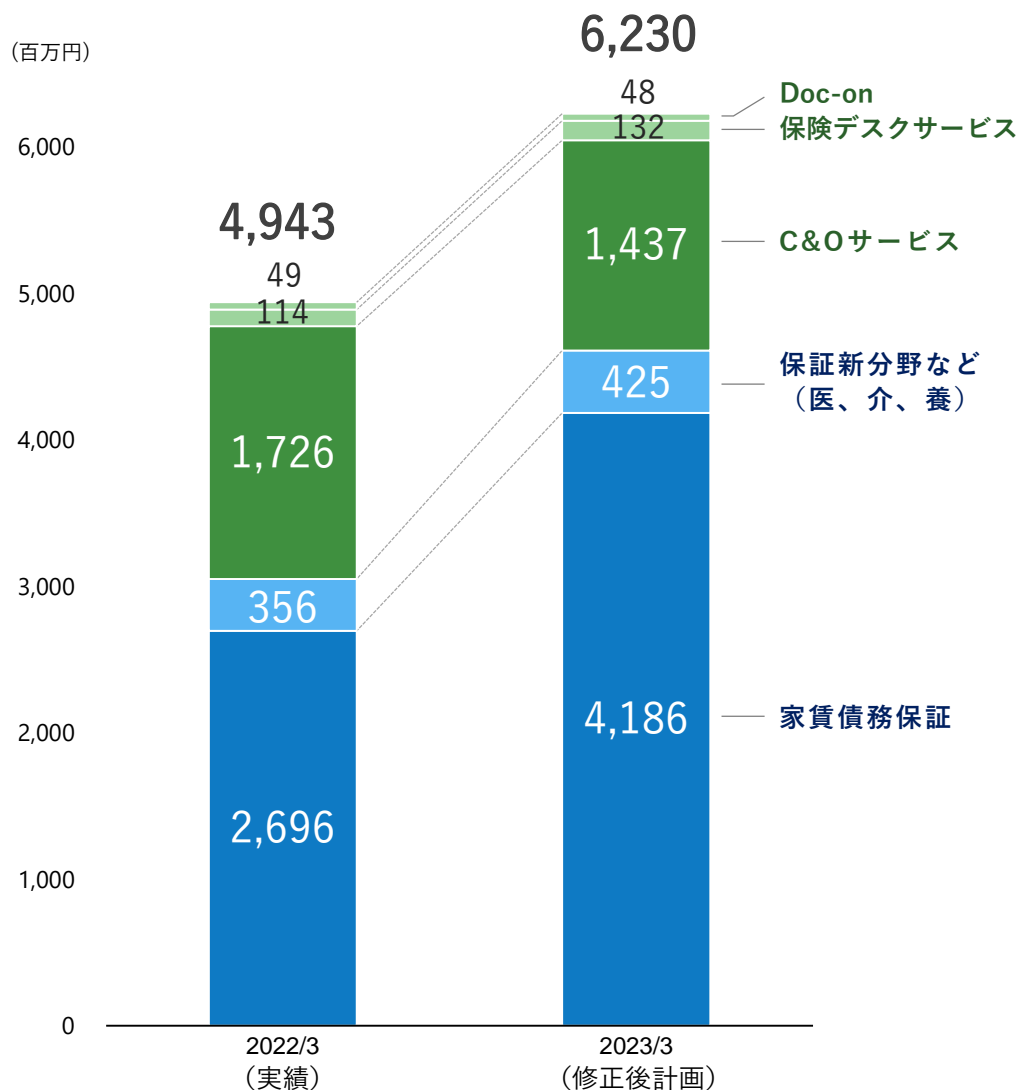
	実績	当初計画	修正後計画	前期比	実績	年間 進捗率
	2022/3	2023/3	2023/3		2022/9	
売上高	4,943	6,200	6,230	126.0%	2,990	48.0%
営業利益	1,184	1,450	1,530	129.2%	773	50.6%
(利益率)	24.0%	23.4%	24.6%	-	25.9%	-
経常利益	1,179	1,450	1,530	129.7%	771	50.4%
(利益率)	23.9%	23.4%	24.6%	-	25.8%	-
純利益	779	910	955	122.5%	478	52.6%
(利益率)	15.8%	14.7%	15.3%	-	16.0%	-

売上高の年間推移と計画

- 売上高80億円に向け**順調に進捗**
- 家賃債務保証は中期経営計画に対して**想定超を計画**
- 医療費用保証は契約の積み増しに向けて**体制強化を実施**



売上高の年間計画（詳細）



ソリューション事業

Doc-on及び保険デスクサービス

引続き拡販を進める

C&Oサービス

保証サービスへの切り替わり継続

保証事業

家賃債務保証

ストックの積み上げ及び月次更新型契約増により更新保証料大幅増

医療費用保証

保証料低下一巡、2022年3月期をベースにコロナ禍影響を計画に反映

介護費用保証

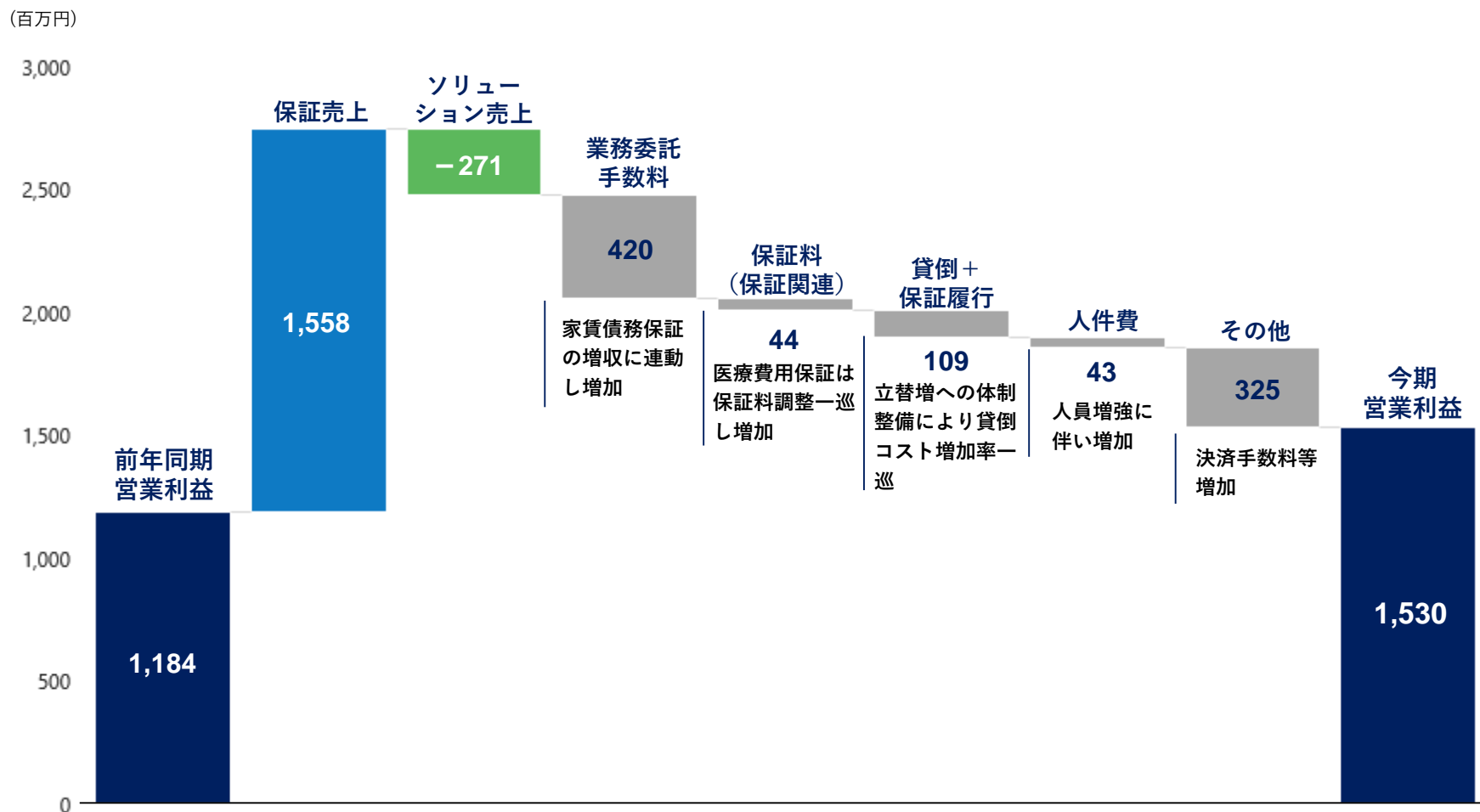
コロナ収束の傾向で、拡販に向けた取り組みを活発化

養育費保証

商品内容を改良へ、事業基盤を確立

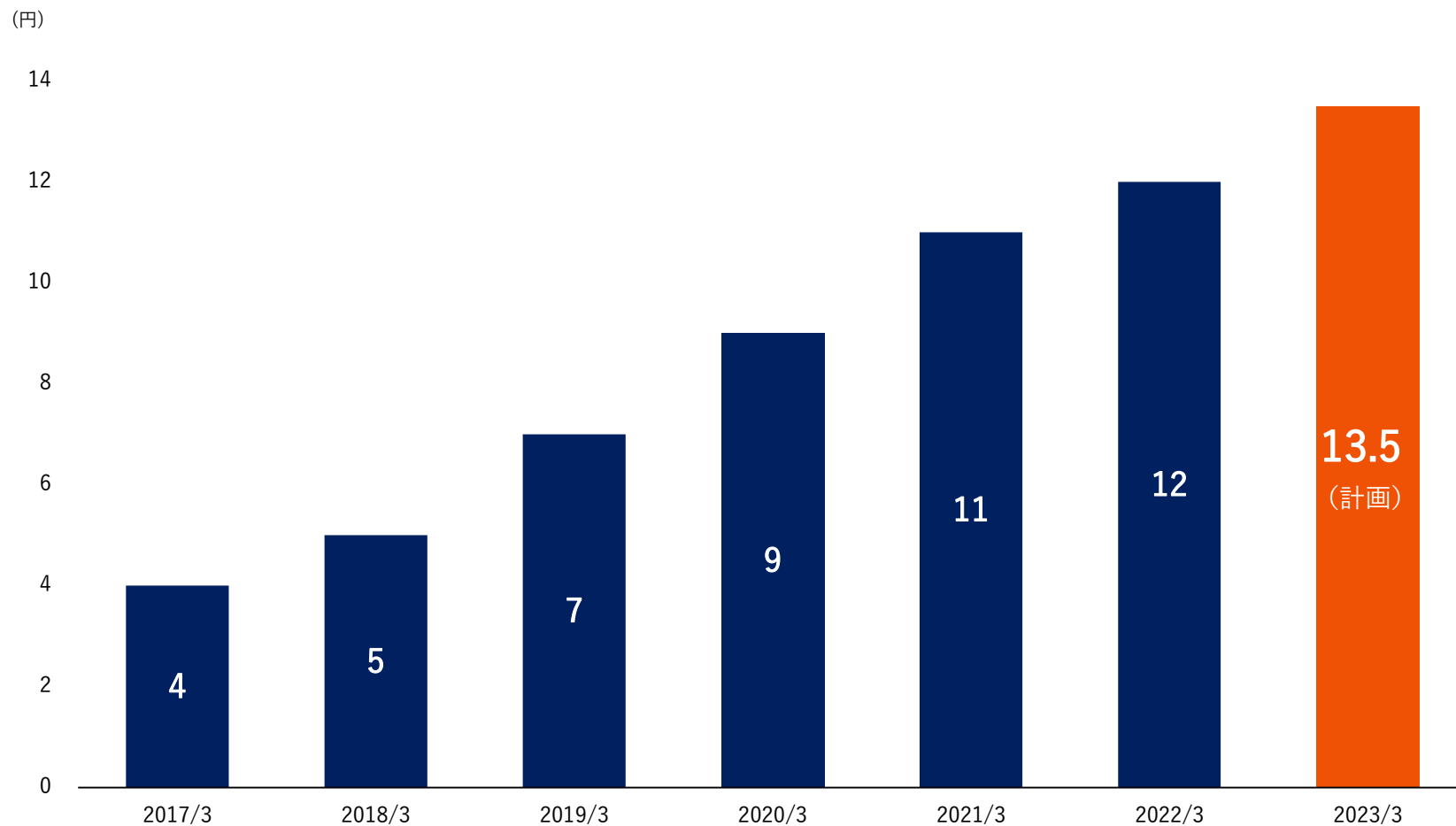
営業利益(計画)の増減分析

- 保証契約増への体制整備により貸倒コスト増加率一巡、センター開設一過性費用剥落



配当の年間推移と計画

- 配当は上期の好調を受け期初計画から**0.5円増配**し13.5円を計画
- 7期連続増配予定



1

2023年3月期 第2四半期 業績

2

2023年3月期 会社計画

3

会社情報

会社概要 (2022年9月末時点)



会社名	株式会社イントラスト
設立年月日	2006年3月
資本金	10億45百万円
決算期	3月
代表取締役	桑原 豊
本社所在地	東京都千代田区麴町1-4
主な拠点	秋田、仙台、富山、大阪、福岡、 東京本社ANNEX 浜松ソリューションセンター
従業員数	243名(アルバイト・パート含む)
事業内容	保証事業・ソリューション事業

事業内容

リスクを引き受ける保証事業とニーズに応えるソリューション事業を展開

保証事業

サービス+リスクを保証



ソリューション事業

専門的なサービスを提供



家賃債務
保証



医療費用
保証



介護費用
保証



養育費保証

B to B

不動産管理会社／医療機関／介護事業施設等

B to C

個人のお客様



C&O
サービス



保険デスク
サービス



Doc-on
サービス

B to B

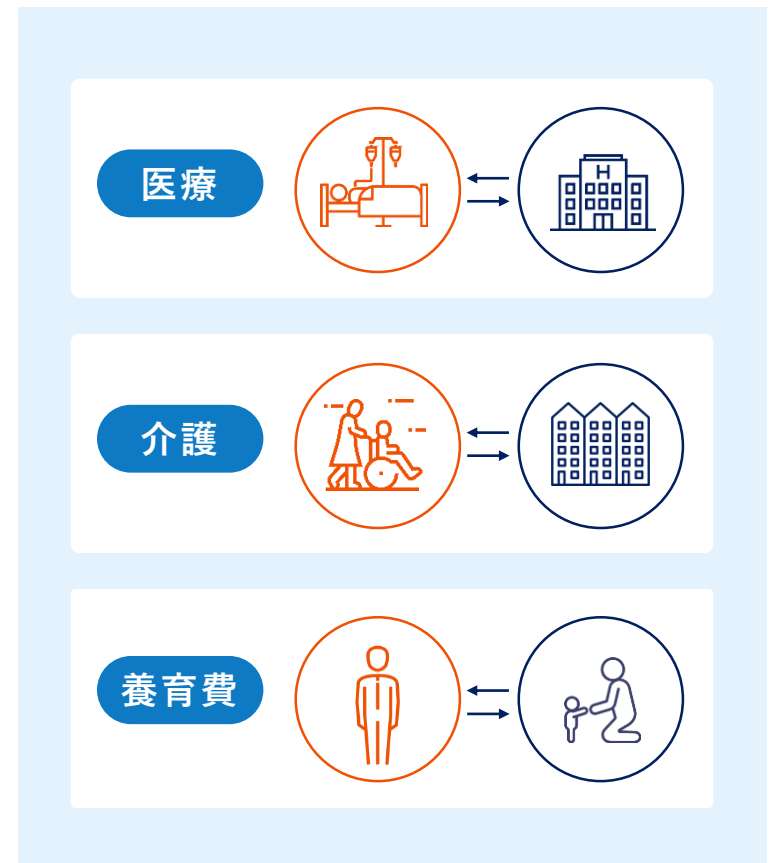
不動産管理会社 / 保険会社 / 信販会社等

保証事業

債権の滞納リスクを引き受け、保証に係る各種サービスを提供

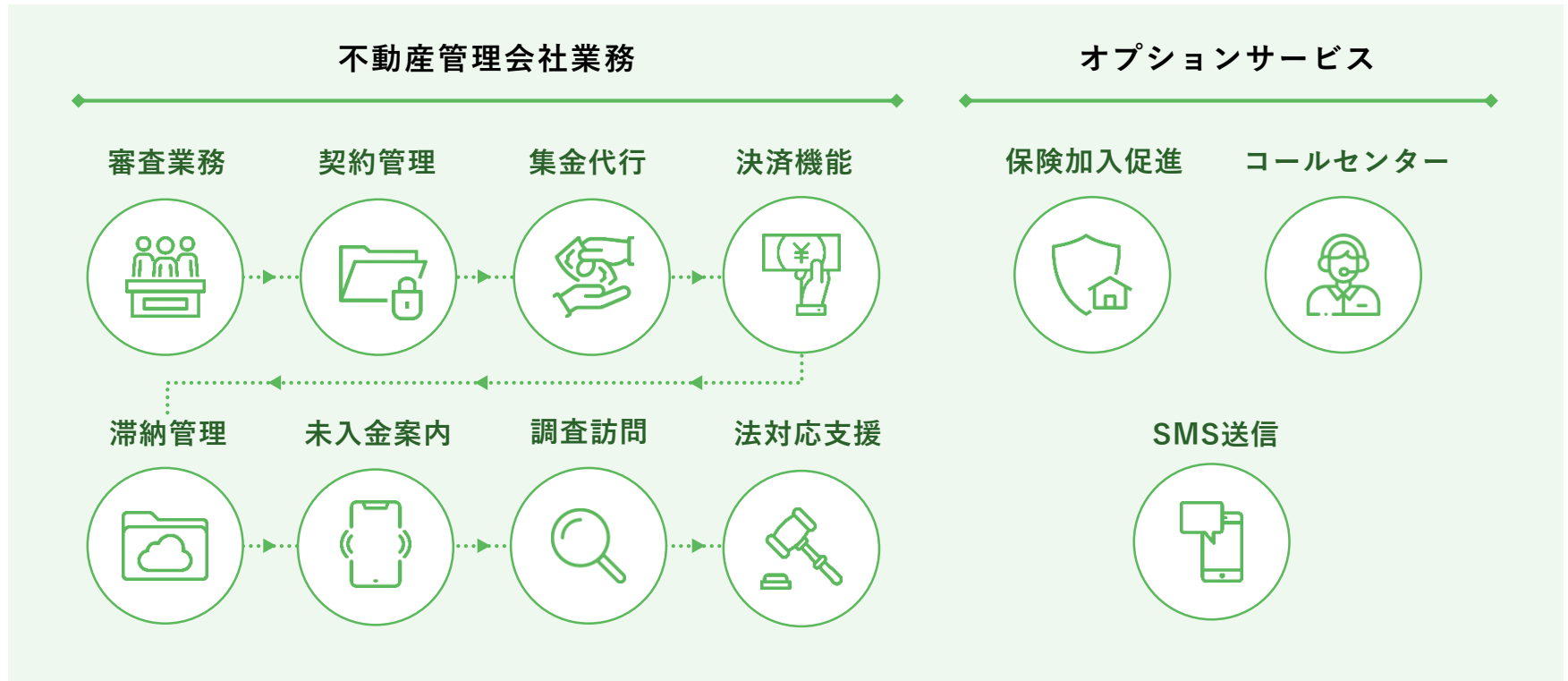


他事業へ
展開



ソリューション事業

家賃債務保証で培ったノウハウで独自の業務支援サービスを提供



固有の顧客ニーズに対して専門サービスで解決する

これまで地縁・親族で支えていた個人の信用を保証会社が企業として保証する社会へ

これまでの社会

管理会社や病院など



無制限の個人連帯保証を要求

- 実際は連帯保証人から債権を回収できないこともあり、未収金の問題も切実
- 適切な信用力の評価ができず機会損失を生む恐れ

利用者（個人）



以前から難しい保証人の確保

- 自分の病気を知られたくない、人間関係の希薄化など、様々な理由により連帯保証人を用意するのが困難に
- 一方で連帯保証人を引き受けたことで破産するケースも

社会の変容 民法改正

保証の極度額設定が必要に

- 民法改正により個人の連帯保証人に対する事務手間が増加するケースも
- 極度額を超えた部分の債権についてはこれまで以上に回収が困難に

保証人の確保がより困難に

- いざ保証の極度額を提示されると『そんなに払えない』と断られてしまうなど、これまで以上に連帯保証人を頼みにくくなるというケースも

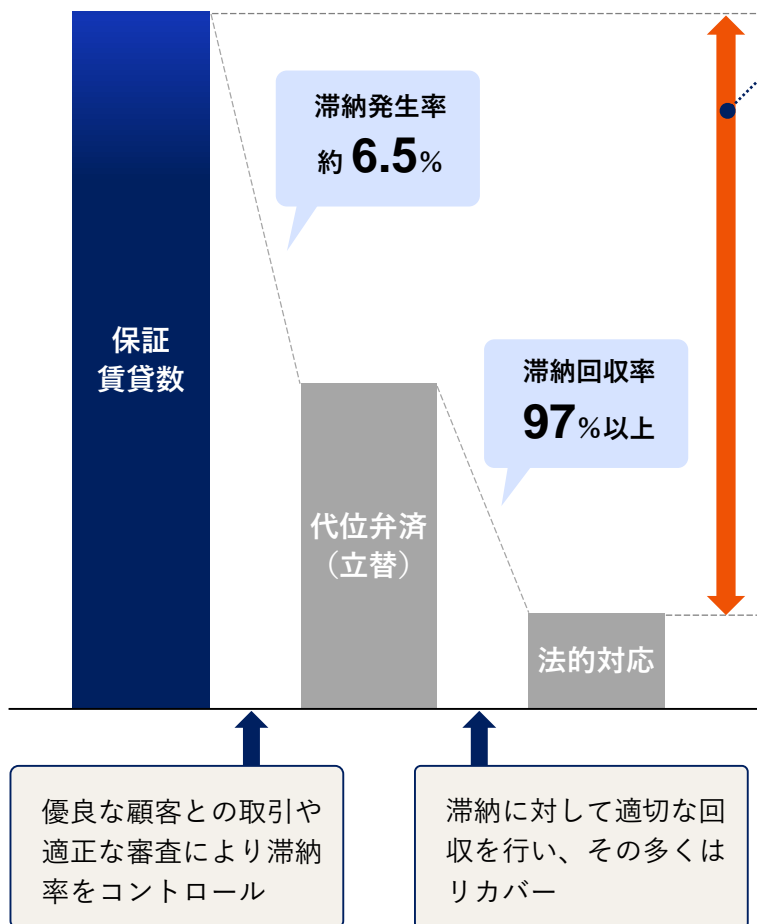
新しい社会

個人の信用力を社会システムで保証 社会全体で貸し手・借り手の非対称性を解消し、あらゆる取引を活性化

- ✔ 保証会社が企業として個人を保証
- ✔ 審査システムによる適正な評価
- ✔ 多数の保証を引受けリスクを分散
- ✔ 信頼を守るための盤石な財務基盤

社会全体の効率性向上

約**12**万件



このギャップが利益の源泉

— 利益を生み出す3つの強み —

評価

- 的確なリスク評価による緻密な運営
- 無理な拡大ではなく、優良な貸主／借り手を選択していくことで、経済性が向上（高利益率）
- 顧客層拡大の好循環が生まれる

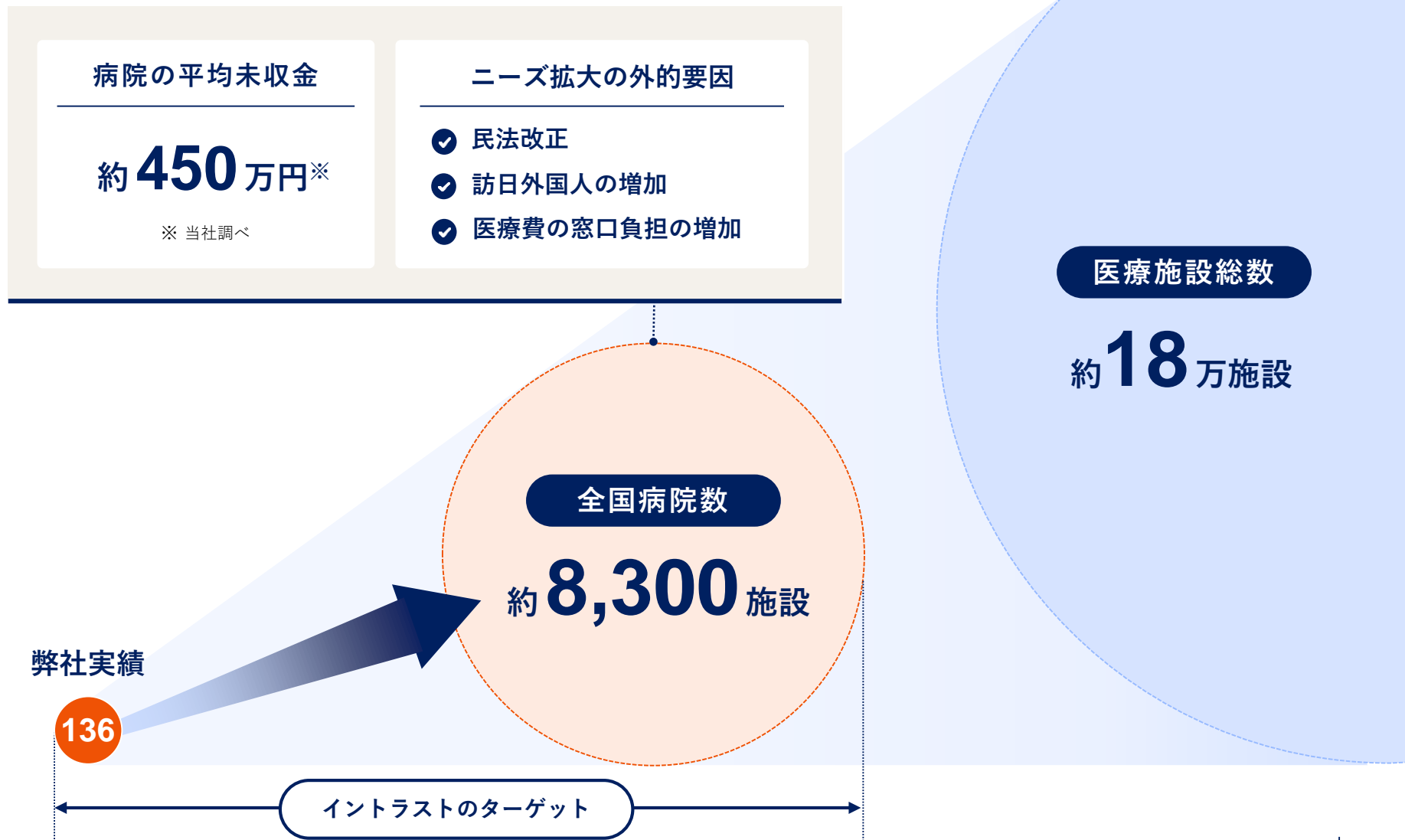
回収

- コンプライアンス重視の回収（上場時も厳しく審査され証明）
- 正当な法的処理を着実に実行
- 専門スタッフによる効率的な回収スキームとそれらを支えるIT／インフラ

専門性

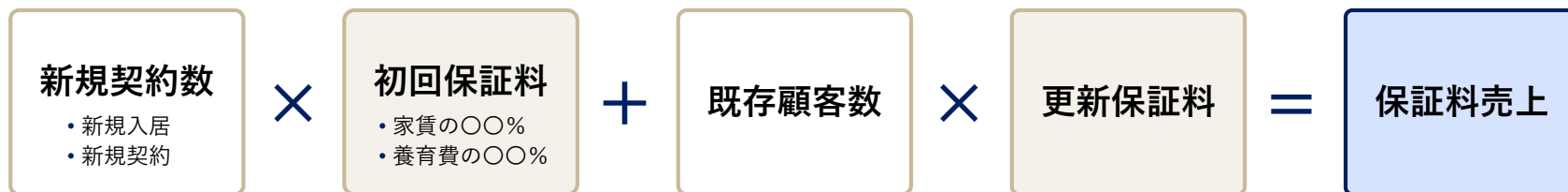
- 審査や回収ノウハウ（専門性）の積み上げ
- クライアント（不動産管理会社・病院など）のスタッフを不慣れな業務から解放
- ソリューション提案によるニーズの解決

大手損保会社との提携により、病院への導入を加速度的に増加させる



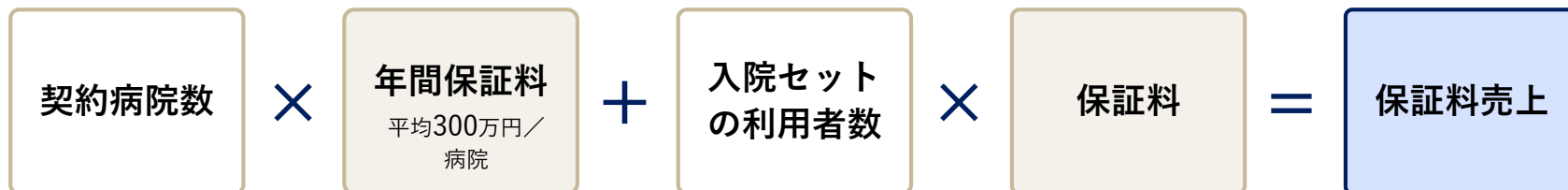
主要KPI

■ 家賃・介護・養育費保証



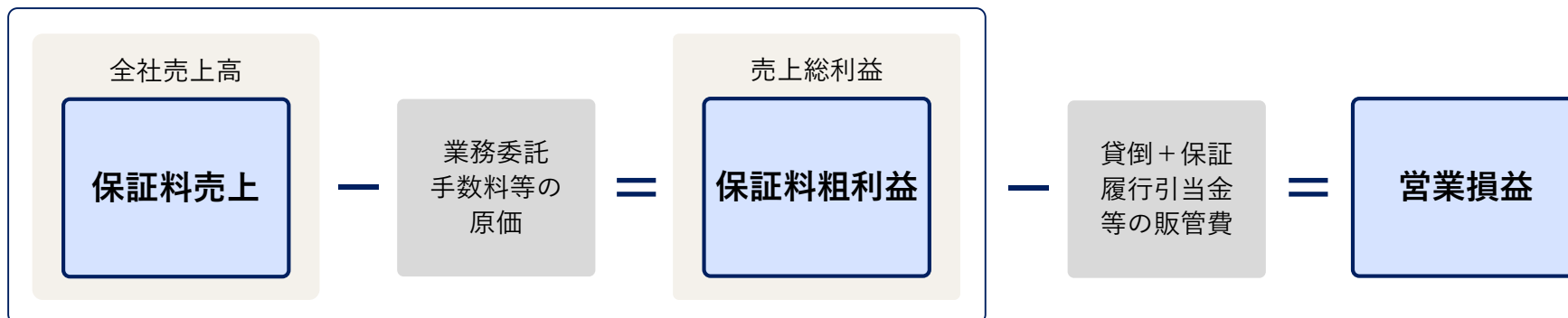
※ 保証期間で按分計上

■ 医療費用保証



※ 保証期間で按分計上

財務構造



資料中の業績見通しに関する記述は現時点における情報に基づき判断したものであり、実際の業績はさまざまな要素によりこれら業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。業績に影響を与える要素には、事業環境、経済情勢の悪化、法令その他関連する規制の動向、訴訟における不利な判決等があります。

本資料に関するご意見・ご質問、及びその他IRに関するご意見・ご質問は下記窓口までお問い合わせください。

問合せ窓口：株式会社イントラスト IR

Email： ent-ir@entrust-inc.jp